

## 淺草會館の諸事業

主任 矢 島 保 高

私共が盡力してゐる淺草會館に於ては、唯今、託兒所、裁縫夜學部、無料診療部、人事相談部、傳道部の五事業をいたして居ります。理想を實現する事は何事にしろむづかしいものでありますが、私共は全力をあげて努力をいたして居ります。

この淺草會館は、一昨年七月八日に、淺草の地方今戸町に設立されました。御存じでございませうが、この今戸町邊は、淺草公園の裏手に當つて居りまして、主として遊廓吉原へ通ふ人々を目當てに、商賣などをしてゐます所とて、その邊の風儀を直す上から、又労働者達の實際の生活上から、どうしても何かの社會設備がなければならぬ所なのであります。かねてからかうした考へを持つてゐた人々が集りまして、殊に西洋人の方がアメリカ迄ゆかれて資金を募集され、私共は日本の富豪達の同情を得まして、唯今の建物を借りることが出来たのでした。この建物は、もと寄席でありましたが、淺草公園に近いも

のですから、どうせ遊ぶなら雷門まで出た方がいい、と云つて、段々この寄席がさびれて來たのでした。其處で、私共はいろ／＼手をまわして、敷金七百圓、家賃百圓といふ値で借りうけたのでした。さうして今迄、人々が夜々集つてゐた座敷はホールに直し、落語家があつて笑はしてゐた舞臺は、教壇の代用となつたのであります。

託兒所の方は、皆様が遊ばしてゐる託兒所と同じことをしてゐるのであります。別に申上げるやうなこともありません。唯今六十人程の幼兒が通つて居りまして、保姆の方二人にお願ひしてあります。其他に看護婦の方が一人居て、幼兒の衛生上のお世話をして居ります。此邊は、今申したやうに、吉原をあてに暮してゐる人達ですから、夜の町とも云ふべき所で、夜は寝るのが非常に遅いので、従つて朝が遅く、託兒所へ來る子供達も、時間がおそくなります。また、この邊に住む人々は、絶えず移動しま

すので、昨日まで託兒所に来て、遊んでゐた兒が、今日は休むといふ風があるので、子供の生活が父母の生活の移動と共に、轉々としてゐるのを見て、氣の毒に思ひます。先日、託兒所の子供等の父母の職業を調査して見ました。

大正十年度一ヶ年中託兒所にて取扱へる兒童の父の職業。

西洋料理	1	鳶職	4
職工	3	洋服裁縫	1
古物商	2	大工	5
ブリキ職	2	箱屋	1
人夫	5	土工	3
車夫	7	薪炭商	1
貸座敷雇	2	染物	1
製箔職工	1	獸製造	1
織物模様つけ	1	電車車掌	1
電車運轉手	1	義手足職	1
下駄齒入	2	雜業	1
ミシン職工	1	疊職	1
靴製造職工	1	烏行商	1
指物職	2	店員	1

金物行商	1	魚行商	2
巡查	3	洗毛業	1
區役所雇吏	1	草履製造	1
籠職	1	建具職	1
おでん屋	1	支那そば行商	1
賣藥行商	1	かもじ職	1
左官	2	車力	3
打綿業	1	會社員	1
桶職	1	鍍金業	1
煮豆屋	1	西洋洗濯	1

同上母の職業(母の職業は餘りに轉々として一定せざる故比較的正確なるものゝみを報告す。)

鼻緒内職	3	裁縫	2
不定勞働	5	洗ひはり	1
産婆	1	貸座敷雇	5
カラー製造内職	1	機織	2
かみゆひ	2	保母	1
女中	1	菓子行商	3
ゴム足袋内職	1	女工	10

託兒所の所屬事業とも云ふべきものは、母の會であります。毎月一回、五十人位集ります。託兒所

に子供を出してゐる母親が來ますので、今申上げたやうな職業の人達であります。教育者、區役所の方方、區の警察署の方々、その他著名な方々を集めて通俗的な講演をして頂いてゐます。

裁縫夜學部といふのは、夜六時から九時までありまして、只今十二人の少女達が通學して居ります。

この邊では、女の子には十二三になれば、近所の料理店やカフェーに出すのが多く、其やうな少女達は、婦人として知つて置かねばならぬ色々のことを學ばず、たゞお化粧して浮薄に世を渡つてゆくのであります。私共はなげかほしい事と思ひ、小學校に未だ通つてゐる少女達や、夜分ひまな少女達を集めて、清らかな空氣にひたりながら、裁縫でもして歸へるといふやうにして始めたものでした。今この方の先生は、富豪の家庭に生れたが、色々の不幸から、信者になられ、一生をこの事業に捧げたいといふ方で、少女達の尊敬をうけて居られます。

無料診療部は、毎夜七時から九時迄で、大澤醫學士が獻身的に擔任し居られます。毎夜十五人ほど押しかけて來まして、中々の繁昌であります。

人事相談部は、今年になつてからやうやく始めた

のでありまして、毎日午前中相談に應じてゐます。昨日も数名の人々が見えましたが、いづれも求職がありました。

傳道部は主として私が致して居りますので、普通の教會と同じ事をいたしてをります。日曜日には、禮拜、日曜學校、祈禱會等いろ／＼して居ります。

一昨年當會館が開設以來、九人の方々が信者となられました。その中で、五回も牢獄に入つた方が、今では改心して、私と一緒に色々な事業に働いて居りますし、又二十五年間も大飲酒家で家庭の風波絶えないう男が酒をすつかりとやめ、豆賣りをして、月百圓の商をして、家庭圓滿に暮して居るのもあります。

私共の事業は不完全ながら、私共一同は、感謝しながら努力して居ります。こちらの方へ御出での時はどうぞ參觀なすつて頂きたいと思ひます。